

部会別の目標とすべき姿の提言

市民参画・行政改革部会

「この地域を良くしたい」という気持ちを大切に、時代の変化に対応しながら、市民と行政の協働の持続可能なまちを創る

都市・交流基盤部会

人と人、まちとまちが交流により誇りと活気あふれるふるさとを創る

教育・文化部会

これまでの歴史に学び、新たな教育文化をすべての世代の連携で創る

防災・安全部会

市民、各団体との連携により、誰もが安心して住める災害に強く、犯罪の少ないまちを創る

産業振興部会

人と人、産業間の連携を強化して、「大崎ブランド」を形成し、地域の誇りと愛着にあふれた、潤いあるまち「おおさき」を創る

保健・医療・福祉部会

「お互い様」という気持ちでみんな支え合い、いつまでもびんびん元気に暮らせるまちを創る

自然・生活環境部会

市民一人ひとりの自主的な取り組みにより、地域・企業・行政が一体となって環境を創る

若人部会

地域を担い、これからも活躍する若者が住み続けられる魅力あるまちを創る

総合計画まちづくりフォーラム

人の和、地域の輪で創りだす おらほのまちづくり

～まちづくりのヒントを探しに来ませんか！～

これからのまちづくりにおける市民参加のあり方を、実際に活動している人たちと一緒に考えてみませんか。多くの皆様のご参加をお待ちしています。(参加無料)

日時 **3月23日** 午後1時30分～
場所 **大崎合同庁舎1階大会議室**

内容 ①基調講演 「協働が拓く大崎のまちづくり」
講師 大崎市地域自治組織・市民協働アドバイザー 櫻井 常矢氏
②活動(事例)発表とディスカッション
市民活動を実践している皆さんによる活動発表をもとに、コメントーターの皆さんとのディスカッションによりまちづくりのヒントを探します。

企画調整課政策調整係 ☎23-2129

- 防災・安全部会**
- ① 防災対策 ② 交通安全・防犯対策
 - ③ 国際平和 ④ 消防・救急体制
 - ▼ **市民としてやるべきこと** 市内全域で自主防災組織が形成できるよう努めるなど
 - ▼ **行政としてやるべきこと** 自主防

- 保健・医療・福祉部会**
- ① 保健 ② 地域福祉 ③ 医療 ④ 福祉
 - ⑤ 子育て支援
 - ▼ **市民としてやるべきこと** 自分の健康は自分で守るといふ、健康づくりに対する意識を持つこと
 - ▼ **行政としてやるべきこと** 保健・医

- 自然・生活環境部会**
- ▼ **市民としてやるべきこと** 自然を残しながら、観光に生かしていくために、大崎を知り、自然を知ること
 - ▼ **行政としてやるべきこと** 江合川沿いの桜並木整備構想の検討など

市民検討会議の提言は、現在、総合計画の素案づくりを進めている職員ワーキングなどで検討し、できるだけ反映することになっています。なお、提言書は市政情報センターおよび各総合支所市政情報コーナーと市のホームページで閲覧できます。

- 教育・文化部会**
- ① 子どもをしっかりとつづける家庭教育
 - ② 信頼される学校教育
 - ③ 学校、親、地域が連携して子どもたちを守り育てる
 - ④ 社会教育・生涯学習
 - ⑤ 文化
 - ⑥ 魅力ある高等教育の実践
 - ⑦ 国際交流
 - ▼ **市民としてやるべきこと** 家庭内で親による子どもへのしつけを適切に行うこと
 - ▼ **行政としてやるべきこと** PTAを通じた保護者教育の場の設置など

- 産業振興部会**
- ① 大崎ブランドの形成
 - ② 農業を生かした交流の拡大
 - ③ 地域の魅力を生かした観光・交流の拡大
 - ④ 定住を促進するための就業支援
 - ▼ **市民としてやるべきこと** 地産地消や大崎市の特産品を選定するなど
 - ▼ **行政としてやるべきこと** 市民が掘り起こし選定した大崎市の特産品などの情報を「売れる」形にしたカタログを作成するなど

- 自然・生活環境部会**
- ① 自らが支える大崎らしい自然やそれに基づく暮らしの保全
 - ② 仕組みを理解して積極的に取り組む資源循環
 - ③ 地域が一体となって不法投棄をさせない仕組みづくり
 - ④ 市民一人ひとりの取り組みを育てるごみ処理のあり方
 - ⑤ 大崎の豊かな水環境を実感できる取り組み
 - ⑥ 環境を守るための石油エネルギーからの脱却
 - ▼ **市民としてやるべきこと** 自然を残しながら、観光に生かしていくために、大崎を知り、自然を知ること
 - ▼ **行政としてやるべきこと** 江合川沿いの桜並木整備構想の検討など

- 若人部会**
- ① 情報発信
 - ② 田んぼの風景があるまち
 - ③ 安心して働けるまち
 - ④ 若者が活躍できるまち
 - ⑤ 若い人が楽しく遊べる場
 - ⑥ 他の地域からも大崎に行きたいと思われようなまち
 - ▼ **市民としてやるべきこと** 若者が主体となって企画運営するイベントを開催すること
 - ▼ **行政としてやるべきこと** 活動の促進に向けた公共施設の利便性の向上など(利用時間、料金)
- 提言内容は計画づくりに反映します

いま住んでいる私たち、これからの大崎市を担う子ども達が、「ずっと」おおさきに住みたい」「いつかは、こんな「おおさき」に住みたい」と愛着と誇りが持てる「ふるさと」として、また、他の地域へ出て行ってしまった人達が「いつかは「おおさき」に戻りたい」と思える「ふるさと」として、

これからの「おおさき」を創りあげるとともに、また、他地域の住民の方が「いつかは「おおさき」に行ってみよう」「いつかは「おおさき」に住んでみたい」と思える「日本ふるさと」として、これからの大崎市を築き上げていきたいと考え、将来像にその想いを込めました。(提言書より)

大崎市の将来像についての提言
～人の“和”、地域の“輪”で創りだす
誇りと愛着、元気あふれるまち 大崎～

「ずっと」おおさき
「いつかは」おおさき

「ずっと」おおさき 「いつかは」おおさき そんなまちを みんなでつくろう

市民検討会議が総合計画策定に提言

去る二月三日、市民検討会議から市長に「大崎市総合計画策定に関する提言書」が手渡されました。市民検討会議は、現在、市が策定を進めている総合計画に市民の声を反映するため、昨年十月に一般公募などにより市民六十五人で結成された「市民参画・行政改革部会」や「都市・交流基盤整備部会」などの八部会に分かれて、延べ二十八回にわたり意見交換を進めてきました。

今回は、その提言書の一部を紹介いたします。

◎ 企画調整課 ☎23-2129

協働の視点に立った提言内容

ボランティアにより結成された市民検討会議は、大崎市のあるべき姿やその実現に向けた取り組み方針などについて、限られた時間の中で熱心に意見交換を進めてきました。

今回提出された提言書は、市民と行政の協働の考えに立ち、「市民としてやるべきこと」「行政としてやるべきこと」「事業者としてやるべきこと」といった新たな視点を取り入れ、「部会ごとの目標とすべき姿」とその部会ごとの目標をもとに検討した「大崎市の将来像」、さらには部会ごとにテーマを設けて意見交換を行った分野別の提言から構成されています。

四十三項目の分野別提言

八つの部会に分かれての提言は全部で四十三項目にわたります。それ

- 市民参画・行政改革部会**
- ① まちづくりに市民が積極的に参画するまち
 - ② 住民自治が活発なまち
 - ③ まちづくりや地域活動の担い手がいるまち
 - ④ 市民が情報を共有し、外部に向かって積極的に情報を発信するまち
 - ⑤ 健全な行財政が営まれているまち
 - ▼ **市民としてやるべきこと** 行政に頼らない地域再生のあり方、住民による仕掛けの検討など
 - ▼ **行政としてやるべきこと** 行政の部署ごとに関連するボランティア組織の横の連携強化など
- 都市・交流基盤部会**
- ① 新市として一体性のある便利な交通体系の構築
 - ② 安全・安心な道路
 - ③ 利便性が高く持続可能な公共交通
 - ④ 大崎らしく活力を創出する土地利用
 - ⑤ 地域が一体となって創りあげる魅力あふれる中心市街地
 - ⑥ 財政力に応じた住民生活を支える都市施設
 - ▼ **市民としてやるべきこと** 地域が主体的に、歩道の除雪や生活道路の除雪を行うこと
 - ▼ **行政としてやるべきこと** 除雪に配慮した道路整備など